

## ☆☆文庫あれこれ☆☆

◆昨夜雨がふったのですね、今日4月21日(土)の朝は、陽の光が木々の、そして草々の若葉に残った雨粒に輝いてことさら緑が美しいです。◆先月からジパング倶楽部会員になって東京との往復交通費が少し安くなりました。と思ってついつい何か不要なものを買ってしまうのですが、これからは、一冊でもみなさんのリクエスト本の費用にあてましょう。◆とても嬉しいことに、文庫の会員有志が何やら相談して、バザーを開いて本購入費用を助けてくださるとか、みなさんがこの文庫を盛り立ててくださるお気持ちがとても嬉しいです。◆そんなこんなで、5月の文庫の日を含めて1週間、イベント週間として開館します(次ページ参照)。◆おはなし会もあります。前は文庫の日でなかったこともあり参加者が少なかったのですが、今回はぜひぜひおいでください。東京から来てくださる語り手も聴き手が多いほうが楽しく語れると思います。◆バザーもどんなものが出品されるのでしょうか、今から楽しみ。と言って私がたくさん買っては本代がうきませんし。自分では使わず眠っているものでもどなたかが気に入ってくださると思って、私も東京の家と大室の倉庫を探して出品したいと思います。みなさんもお楽しみに参加してみてください。結構掘り出し物があつたりして...◆文庫開館から丸9ヶ月が経ちました。みなさんが利用して下さるので、ここに来るのが楽しみです。たくさんの方々ともお知り合いになりました。◆今日、明日は大室高原自治町内会の会館お披露目の日でもありますね、ますますこの地が暮らしやすいすてきなところになりそう。◆さて、文庫のある日曜は小さなおはなし会(子ども向け)をやっています。わが頼もしい助っ人のおふたりにも読み聞かせをしていただいています。この辺りでも学校に読書ボランティアでおはなしや読み聞かせにでかけている方も多いようですし勉強会も各所であるようですが、ここ沙羅の樹文庫でもはじめようかな。9月に東京で子どもと読書にかかわる大きな会を抱えているのでそれが済んだら10月ごろから。子どもの本も楽しいですよ。(西村)

## ♡♡緑の5月・イベント週間♡♡

一週間文庫を開館します。

おもしろいこと満載です。ぜひおでかけください!

開館期間 5月15日(火)~21日(月)

開館時間 10:00~15:00

イベント 1. 沙羅の樹バザー

5月17日(木)~18日(金) 文庫開館時間内

イベント 2. おはなし会

東京世田谷「山の木おはなしのたね」のみなさん

5月19日(土) 16:00~17:30

大人のためのおはなし会

5月20日(日) 10:00~10:40

おひぎにだっこのおはなし会

5月20日(日) 11:00~11:45

小学生のためのおはなし会

★紙芝居おじさんの日も予定しています

(詳細は5月15日にお問い合わせください)。

★開館期間中は、本の返却・貸出はあります。

## ☆☆今後の開館スケジュール☆☆

◆5月は第3土日も開館しますが、さらにその前後も開館します。上記参照。

◆6月は、第3土日(16, 17)開館。

◆7月は、文庫一周年です。第3土日(14, 15)開館。ただし、15夕は「伊豆高原・海の日のおはなし会」(伊豆高原駅大クスノキの下)

16日(祝日)は文庫開館一周年記念・子どものためのおはなし会(午前)です。

◆文庫の時間は土曜日は午後2時~5時

日曜日は午前10時~午後3時

◆毎月開館日の日曜には、子どものための小さなおはなし会があります。

# 沙羅の樹文庫だより

## No.8

(2007年5月号)



緑がまぶしい季節となりました。

でも天空もこの地球も何かと物騒ですね。

4月にそれぞれの場で新1年生になった皆さん、

お元気ですかー!

もうすぐゴールデン・ウィーク

ひといき入れて、自然に身をひたし、

また歩き出しましょう!

## 紹介・子どもの本 大人の本

### ★会員から会員へおすすめの1冊★

(文庫の棚の本を紹介していただいております)

#### 『ぶたぶたくんのおかいもの』

(土方 久功さく・え 福音館書店 1985)

わたしは、しょうかいする本に、ようち園から読んでいた『ぶたぶたくんのおかいもの』をえらびました。

わたしが、ぶたぶた君だったら、おつかいに行くのが大好きだから、たのまれたら毎日おつかいに行きたくなったと思います。

でも、パン屋のおじさんがぶたぶた君に、「かんしんかんしん。」

と何回も言う場面で、一人でおつかいにきただけでそんなにかんしんすることかな?と少し思いました。

八百屋のおねえさんは、あんなにいっぱいのことをものすごい早口で言ってよくしゃべれるなと思ったし、ぶたぶた君もよく聞きとれたなと思いました。

それから、ぶたぶた君とかあこちゃんの、「ぶたぶたかあこお。」

と言って歩いているところがすごく楽しそうで、わたしもそんなお買い物をしてみたいなと思いました。

おかし屋のおばあさんは、あんなにゆっくりしゃべってつかれないのかしら? わたしだったら、あめ玉を買ったと思います。

こぐま君がなかまに入って、

「ぶたぶたかあこおくまどたじだたあんばたん。」と言いながら歩いているところはぶたぶた君とかあこちゃん二人だけのときよりもっともっと楽しくゆかいになったふうけいが頭にうかんできました。

さいご、みんなの家にかえる道が全いんちがって、ぶたぶた君は心細くなったけど、わたしは、ぶたぶた君はみんなの言ったことをしんじて歩いて行ったと思います。

わたしだったら、自分の家と自分のお母さんっぽい人が見えても、もうちょっと近くによって、ほんとうにおかあさんだと思ってからかけだしたと思います。

小さい時から、なんかいもなんかいも読みました。私はこの本に出あえて本当によかったです。(高橋 水穂)

❖水穂ちゃんは新4年生。年長さんになった弟の慎太郎くんがママのおなかの中にいるときから、「海の日のおはなし会」をずっと聴きにきてくれました。ひとりで本が読めるようになって何回も何回もおなじ絵本を読んでおはなしの世界をたっぷり楽しんでいるようですね!この本はいまや40代にならんとする私の子どもたちも幼い頃、大好きでした。(空・花・颯)

### お花見頃のおはなし会 報告

#### 第1日(3月31日) 大人のためのおはなし会

1. 猿とひき蛙の餅争い 平塚ミヨさん
  2. 梅の木村のおならじいさん
  3. 世界のはての井戸 古市静子さん
  4. お月さん金のくさり 増山正子さん
- 休憩
5. すずめのおくりもの 平塚ミヨさん
  6. 水たまり 西村敦子さん
  7. 三本の金の髪の毛 古市静子さん

入学式が間近ということもあって、「すずめのおくりもの」が特に心に残りました。お休みの日の朝早く「お豆腐屋さん」にすずめが自分たちのつくった大豆を持ってやって来て、「お豆腐つくってください」ってお願いするのです。お話の中ですずめたちの様子がそれはかわいらしく表現されて、ほんとにすずめたちのおしゃべりが聞こえてくるようでした。ここ大室高原の辺りでは街中と違ってあまり目にしません、今度すずめに出会ったら、「何を相談しているの」「どちらへ」なんて言ってしまうそう。読書と同じで、最近カタカナ文字に弱くなってきた私は、おはなしも「近くにあるもの」がいいみたいです。「梅の木村のおならじいさん」も自然に笑えて楽しかったです。「笑える本」で、探すともあまり無いと思っていたのですが、お話で聞くといっぱいあるのですね。(中西 景子)

#### 第2日(4月1日) 小さい子のためのおはなし会

1. 鳥のみ爺 平塚ミヨさん
  2. こぶとりじいさん 古市静子さん
- 初めて聞く語りの方によるおはなし。聞く前からわく

わくしていました。いよいよその日がやってきて、2日目。小さな子ども向けのおはなし会は、先ずおはなしに入る前に、小さな袋からこの季節に合った、たんぽぽ、つくしんぼ、ひよここといった小物を取り出し、話すというか、歌うというか、リズムをつけて遊ぶのです。もうこの頃には子どもも大人も語る方の世界に引きつけられています。語り手のリズムがとても心地よく楽しく、子どものみならず大人もおはなしの中に引き込まれ、物語の空想の中で遊んだのでした。(森川理恵)

今回の「お花見頃のおはなし会」は、私の目論見が失敗して、聴きにきてくださる方がとても少なかったのです。暖冬ゆえに桜が散ってしまうのではと気を揉んで気を揉んでいましたら、何とちょうどよい花見ができたのですが、皆様もお花見やら、花見に訪れた方の接客?で、おはなし会どころではなかったようですね。今回の語り手は人生の先輩でもあり、語りのベテランで、その語りは、さり気ない中に各語り手の年輪、人生観、結うモア、ウィット、ペースがほどよい加減に調味されていて。聴いていただけなかったのがとても残念でした。(西村)

### 新入庫案内

#### 大人の本

イリアス(アレッサンドロ・バリッコ著 草皆伸子訳 白水社) / ロング・グッドバイ(レイモンド・チャンドラー著 村上春樹訳 早川書房) / 茶箱のなかの宝もの(鶴田静香著 岩波書店) / ひとり日和(青山七恵 河出書房新社)

#### YA(ヤングアダルト)の本

一瞬の風になれ2, 3(佐藤多佳子著 講談社) / ラスト・イニング(あさのあつこ著 角川書店)

#### 子どもの本

はたけうた・もりのてがみ・ことりのうち・しのだけむらのやぶ学校・くもりのちはれせんたくかあちゃん(5冊とも、福音館書店 こどものとも傑作集) / あいうえおおかみ(くどうなおこ作 ほてはまたかし画 小峰書店) / マウルスと三びきのヤギ(アロイス・カリジェ文・絵 大塚勇三訳 岩波書店) / きよだいなきよだいな(長谷川摂子作 福音館書店: 超大型絵本です)

★このほか、子どもの本約130冊(東京・広瀬恒子様)と一般書の寄贈数冊がありました。ありがとうございました。